

奨励賞

○設計者

香川貴範

- 大阪府建築士会
- SPACESPACE一級建築士事務所



○戸建住宅 (専用)

地面と屋根上の家

- 大阪府茨木市

▶▶▶ 選評

この建物は大阪府茨木市の近隣商業地域に建っている。

外観を見ると3階建ての高さを持っているが、じつは天井高さが6mを持つ1階と、その上にある天井高さ2.1mを持つ2階からなる新しい空間を提案した木造2階建ての小住宅である。

見所は1階の広間にある。道路からバリアフリーで室内に入るとカマクラ状に隆起した丘（高さ1,450mm）が内部の視線を遮り、丘を回り込んで室内に入り込む。丘の中にくり抜かれた穴の入口から降りていくと浴室と洗面が現れ、洞窟の中にいるように感じられる。そして床の延長として扱われるこの丘には床暖房が埋設され、蓄熱体としての役割も果たしている。食堂と向かい合う南側の丘のえぐられた部分はソファとしての機能を果たし、空間を仕切る装置として提案されている。さらにこの丘は通気性のある布カバーで覆われ、小物を収納するポケット等がついている。そこでの生活は、地面にテントが張られ、野外で生活をしているような異空間を思わせる。この空間は6mの天井高さを持つことで生かされている。

2階は外周部の壁と屋根部分から150mmの隙間があげられ、換気機能としてのダブルスキンの効果を取り入れている。この隙間は温熱効果として空気を流動させる工夫が施されている。

この作品は、小住宅のあり方に新しい可能性をもたらした秀作である。

(竹原義二)



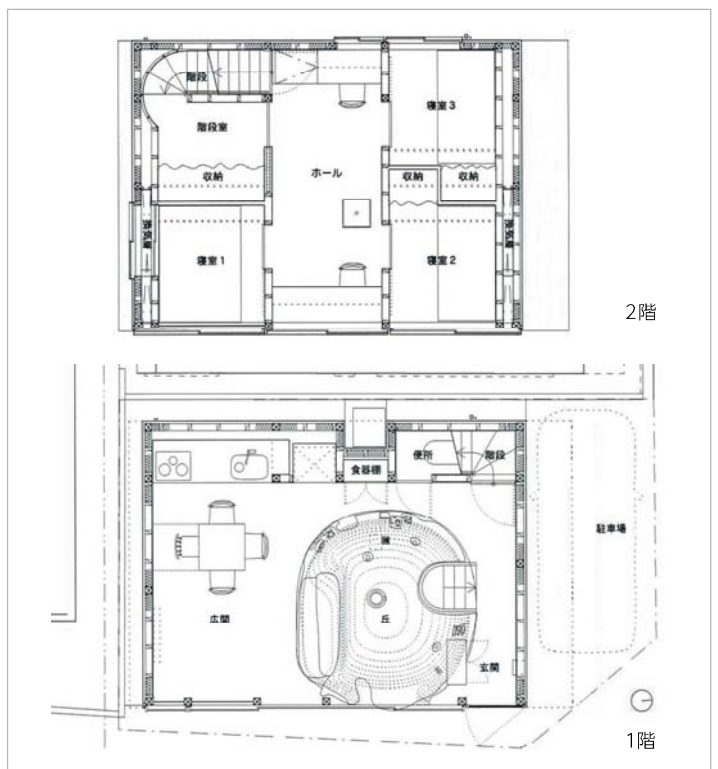
A



B

- 構造・階数：木造、地上2階建て
- 敷地面積：53.31㎡
- 建築面積：30.96㎡
- 施工床面積：73.37㎡(コンクリートの丘等含む)
- 竣工：平成22年9月15日

写真撮影：鳥村鋼一



平面図



C



F



D



G

- A: 正面夕景
- B: 道路から見た外観
- C: 断面模型
- D: 1階を上から見る。左上が入口で、丘を回り込んで室内へ入る
- E: 丘の中に納められた浴室
- F: 天井高さが6mの1階。開口部から光が降り注ぐ
- G: 2階の外周壁との間に取り入れた150mmの隙間。温熱効果として空気を流動させる役割がある
- H: 1階食堂から外を見る。食堂に面した丘のえぐれた部分はソファとなる



E



H